



中央公民館だより2月号



発行 鹿児島市中央公民館 発行日 令和7年2月1日
〒892-0816 鹿児島市山下町5-9
TEL 224-4528 FAX 224-4529
鹿児島市ホームページ (<http://www.city.kagoshima.lg.jp>)



まどいに和み 学びを生かす 伝統と文化の中央公民館

地域公民館の公民館だより

学んでいる方々から学んでいます

社会教育指導員 南 竜治

中央公民館で働き始めて、間もなく1年になります。長年勤めてきた小学校とは違い、幅広い年代、さまざまな職種の方と接する機会が非常に増えました。デスクワークが多い中、来館される方々と接する時間は貴重で、学習グループや講座を受講される方々とお話をする中で、学び続ける方の熱いエネルギーが伝わってきて、いつも元気をいただいています。

「もう、後期高齢者なんですよ」と笑いながら話される、水墨画講座の受講生の方から、日々の充実につながるキーワードとして、「きょういく」と「きょうよう」の2つを教わりました。「きょういく」は、「今日行く(所がある)」で、「きょうよう」は、「今日用(がある)」を指すそうです。周囲との関わりや目的のある生活の大切さは、頭では分かっているのですが、忙しい仕事の合間を縫って趣味の時間を楽しんでいる方の言葉には強い説得力があり、腑に落ちました。

本年度担当した講座の一つに「はじめての手話」がありました。5月から11月のほぼ毎週火曜日、全25回と最も回数が多く、時間は19時から21時と、夜間に開かれる講座でした。抽選で決定した20代から70代までの30人の受講者の中には、職場から直行される方も少なくありませんでした。フェリーで通い続けた方もいらっしゃいました。回を重ねる度に覚える内容が増えてくると、手話を覚えることへの悩みや不安を抱える方もいらっしゃるようになりました。講師の先生に相談すると、講座の時間での復習タイムや受講生同士での練習時間の設定、聴覚に障害のある方々を招いての交流学习、手話に関連するイベント情報の提供など、受講生のモチベーションの維持につながる温かい配慮や工夫をいろいろといただきました。講座以外の時間での一人一人の努力もあり、開講時は初心者だった方々も、あいさつや自己紹介、道案内の仕方など、できることが確実に増えてきました。毎回真剣に、かつ笑顔の絶えない明るい雰囲気講座が進み、最終的に23の方が修了されました。現在も、手話の学習に関する番組や記事等の紹介、身に付けた手話が職場で役立つエピソードなど、SNSを通じて情報交換をされています。講座が終わっても努力し続ける姿勢に頭が下がる思いです。

令和7年度は、本年度の学習内容を基盤とした「ステップアップ手話」講座が開講される予定です。学びをさらに深め、身に付けたことが一つでも多く、世の中で困っている方々を助けることにつながるよう願っています。



はばたけ、薩摩っ子

城山登山競走

名山小学校

城山登山競走は、毎年実施する本校の伝統行事で、今年度も12月5日(木)に実施しました。城山登山競走といえば、何と言ってもあの急な坂道です。子供たちはスタートラインに立つだけで、心臓が張り裂けそうな気持ちになり、坂道を前に最後まで走ることができるのか不安な様子を見せたりします。それでも、子供たちはこれまでコツコツと練習で積み上げてきた成果を発揮しようと、歯を食いしばって山登りに挑戦しました。必死になって坂道を駆け上がる子供たちに向けて、沿道からは多くの声援が寄せられました。その声援に応えようと子供たちも一生懸命走る姿が見られました。精一杯の走りを見せてくれた子供たちは、この行事を通してさらなる成長を遂げることができたと思います。来年度も、この城山登山競走で多くの子供たちの成長を見届けていきたいです。



第48回中央地域総合文化祭 舞台部門のリハーサル、展示会場の準備を行いました。

1月7日(火)から21日(火)にかけて、中央地域総合文化祭の舞台リハーサルを行いました。出演される各団体の皆さんは、演技はもとより、立ち位置やおじぎのタイミング、登壇から降壇までの確認など、本番さながらに熱のこもった稽古をされていました。また、地階で開催する展



示部門の会場準備を24日(金)に行い、出展団体の方々に作品の展示や設営を協力して行い、本番に向け、展示会場を整えることができました。なお、1月25日(土)～26日(日)に開催された、第48回中央地域総合文化祭の様子は、中央公民館だより3月号で詳しくお伝えする予定です。



寒さも吹き飛ばす、熱戦を展開！

～第45回公民館新春かるたとり大会～



1月13日(月)、西原商会アリーナにおいて、第45回公民館新春かるたとり大会が開催され、市内の14地域公民館で講座を受講したり、学習グループで活動したりしている小中学生ら77人が参加し、他の地域の子供たちと交流しながら学びの成果を競い合いました。中央公民館からは、11月と12月に開講した「楽しいかるたとり」講座を受講した小学3～6年生が参加しました。昨年は1人だった受講生

が本年度は6人に増え、友達と教え合いながら、5回の講座で練習を重ねてきました。大会は学年や経験等によってS、A、B、C、D級に分かれて行われ、一人2試合ずつ対戦しました。中央公民館はA級とC級で見事3位に入賞し、さらに前年度から参加者が大きく増えたチームに贈られる特別賞までいただく受賞ラッシュでした。ただ一人2年連続で出場した、松原小学校6年生の西川愛華さんは、「たくさんの友達と参加できて楽しかった。中学生になっても参加したい。」と振り返っていました。

